

三浦義光議員



既存住宅や建て替え時に  
液状化対策を推奨しているか

問

液状化対策について聞く。  
(1) 千葉県浦安市と24年9月、災害協定を結んだが、内容等を聞く。  
(2) 公共土木施設に対し、独自の調査、対策を検討しているか。  
(3) 既存住宅対策、建て替え時の推奨などを考えているか。

設計士への相談  
を勧めていく

答 市長

(1) 液状化現象を激甚災害として、どう国に要望しなければならぬかを基本に、災害からの復旧、復興を教訓として学びたい。

答 下水道課長

(2) 下水道は、液状化対策

は設計当初から行っている。

道路は、名古屋第三環状線の一部区間が液状化対策となるサンドコンパクションパイル工法を採用している。

浦安市と情報を共有し、対策について今後も調査、研究していきたい。

答 防災安全課長

(3) 絶対的な工法は現段階ではないようで、土地の状況や費用等を考慮しなければならぬ。  
新築、改築時には設計士等に相談するよう勧めていく。

農家の家族経営  
協定の長所は

問

農業経営の現状について聞く。

(1) 24年度産米の作況指数は。

(2) 日本政策金融公庫の調査で、

灯油等燃料や肥料代のコスト増加に対し、販売価格に転嫁できない

実態が明らかになっている。どんな改善策があるか。

(3) 農村生活アドバイザーは何人いるか。

(4) 農村女性起業活動の実態と支援を聞く。

(5) 家族経営協定は何戸が締結されているか。

どんなメリットがあるか。

認定農業者にな  
れ、助成も拡充

答 農政課長

(1) 県は101、尾張地域は100である。

(2) 市では、スーパーL資



金や、農業近代資金に対する利子補給をしており、今後も継続していきたい。

(3) 11人である。

(4) 24年3月末現在、食品加工4件、直接販売2件である。

支援は行っていないが、農村生活アドバイザーに補助をしている。

(5) 水稲8、トマト10、花き10で、28戸が締結している。

制度上のメリットは、認定農業者になれること、農業者年金保険料助成が受けられる。女性や若者が経営に参画し、安定経営を進めるよう、推進していきたい。